

青森県次世代育成支援行動計画  
のびのびあおもり子育てプラン  
(前期計画:平成27年度～令和元年度)

報告書

令和2年8月  
青森県



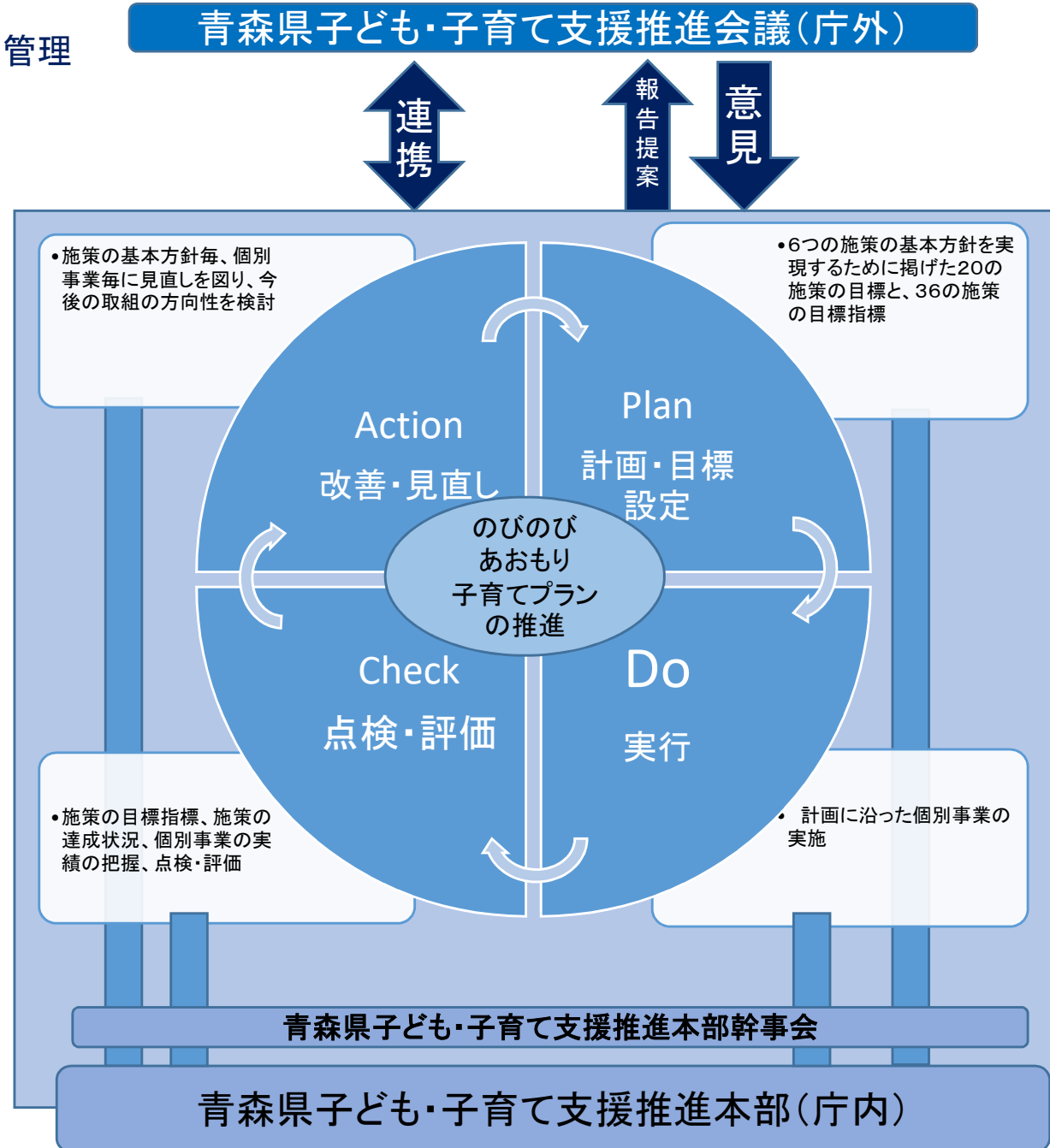
# 1 報告書の作成及び公表にあたって

## ■「のびのびあおもり子育てプラン」(前期計画)の進行管理

・プランの着実な推進を図るため、プランに掲げた6つの「施策の基本方針」に関連する個別事業の実施状況及び各施策の達成状況を毎年度、把握、点検・評価し、その結果を次年度以降の施策に適切に反映させ、効果的・効率的な予算編成や事業実施につなげるPDCAサイクルにより進行管理を行う。

・進行管理については、「青森県子ども・子育て支援推進本部」を設置し、全庁的な体制の下、部局横断的に各年度において実施状況を把握・点検するとともに、子育てに関する団体や民間の有職者等で構成する「青森県子ども・子育て支援推進会議」と連携しながら、今後の取組の方向性を検討する。

・結果については、毎年1回、青森県次世代育成支援行動計画「のびのびあおもり子育てプラン」(前期計画)の年度報告書としてホームページに掲載して公表するとともに、県民の意見等を聴取しながら、その後のプランの見直しなどに反映させる。



## 2 のびのびあおもり子育てプランの概要

### ① プラン策定の趣旨

平成17年2月  
青森県次世代育成支援行動計画「わくわくあおもり子育てプラン」  
(前期計画)策定

平成22年2月  
青森県次世代育成支援行動計画「わくわくあおもり子育てプラン」  
(後期計画)策定

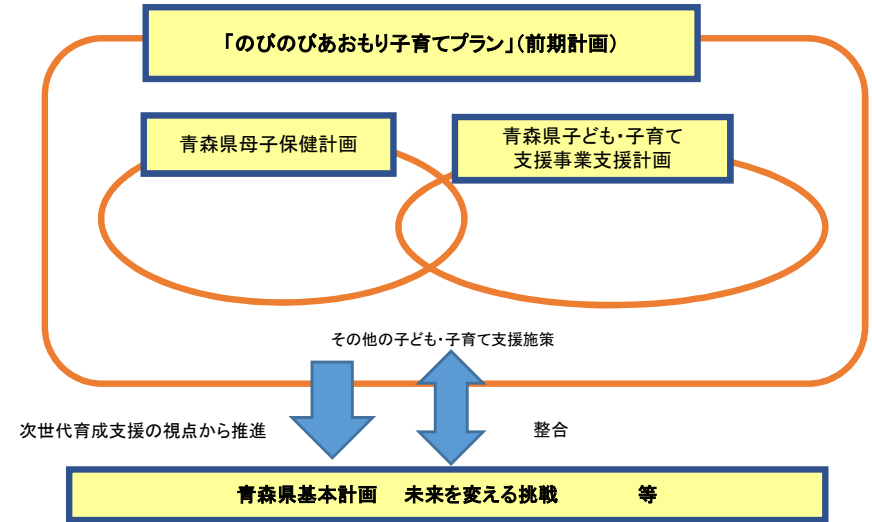
見直しの背景

- 少子化の流れは変わっていない
- 少子化危機突破のための緊急対策  
◇ 3本の矢
  - ① 子育て支援をより一層強化
  - ② 働き方改革をより一層強化
  - ③ 結婚・妊娠・出産支援の追加
 ◇ 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援
- 平成26年4月に次世代育成支援対策推進法が改正され、有効期限を10年間延長
- 「健やか親子21(第2次)」で示された課題や指標を基本とした「母子保健計画」の見直し
- 子ども・子育て支援法に基づいた「子ども・子育て支援事業支援計画」の策定の義務化
- 家庭的養護の推進 等

平成27年3月  
青森県次世代育成支援行動計画「のびのびあおもり子育てプラン」(前期計画)策定

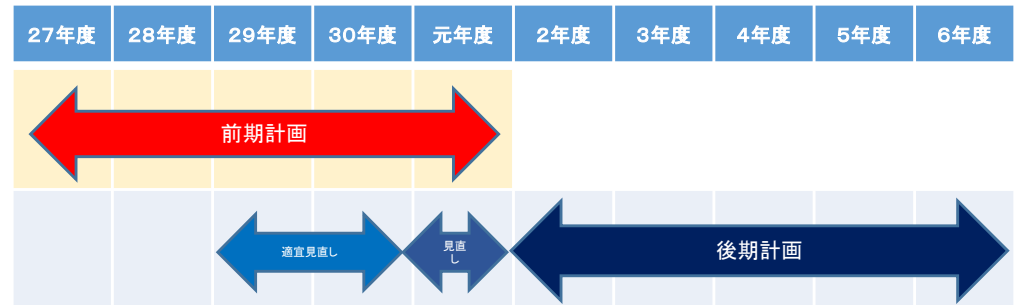
### ② プランの性格・位置付け

■ 本計画は、「青森県子ども・子育て支援事業支援計画」及び「青森県母子保健計画」と一体的に作成



### ③ プランの期間

■ 平成27年度～令和元年度(5年間)



### 3 施策の体系



#### 4 のびのびあおもり子育てプランの評価 (①結婚の望みをかなえるために)

※は暫定値

施策の基本方針	施策の目標指標	プラン策定時	目標値	実績					達成状況	担当課 公表時期
				H27年	H28年	H29年	H30年	R1年		
1 結婚の望みをかなえるために	婚姻率 (厚生労働省「人口動態統計」)	4.3/人口千対 (H25)	増加	4.2 ／人口千対	4.0 ／人口千対	4.0 ／人口千対	3.8 ／人口千対	3.7※ ／人口千対	未達成	こどもみらい課 毎年度
	合計特殊出生率 (厚生労働省「人口動態統計」)	1.40 (H25)	増加	1.43	1.48	1.43	1.43	1.38※	未達成 (27~30達成)	こどもみらい課 毎年度
	平均初婚年齢 (厚生労働省「人口動態統計」)	男30.5歳 女28.8歳 (H25)	低下	男30.6歳 女29.0歳	男30.5歳 女29.0歳	男30.8歳 女29.0歳	男30.8歳 女29.0歳	男30.9歳※ 女29.3歳※	未達成	こどもみらい課 毎年度
	第一子出生時の母の平均年齢 (厚生労働省「人口動態統計」)	29.5歳 (H25)	低下	29.8歳	30歳	29.8歳	30.0歳	R2.9公表予定	(悪化傾向)	こどもみらい課 毎年度

##### 【評価】

○「合計特殊出生率」は、これまで目標を達成してきたが、令和元年にプラン策定時の1.40を下回り、目標を達成することができなかったことから、合計特殊出生率の増加に向けて、各ライフステージにおける切れ目のない支援を推進する。  
 ○「婚姻率」「平均初婚年齢」も目標を達成することができなかったことから、引き続き、結婚したい男女の希望を叶えるため、男女の出会いにつながるサポート体制の充実に取り組む。

##### 【令和元年度の主な取組】

○結婚支援協働サポート事業  
 ○「みんなで子ども・子育てを応援！」推進事業(仕事と結婚・子育て両立応援事業)

#### 4 のびのびあおもり子育てプランの評価 (②安心して子どもを産むために)

※は暫定値

施策の基本方針	施策の目標指標	プラン策定時	目標値	実績					達成状況	担当課 公表時期
				H27年	H28年	H29年	H30年	R1年		
2 安心して子どもを産むために	乳児死亡率 (厚生労働省「人口動態統計」)	2.4 /出生千対 (H21~25平均)	全国平均以下	2.16 /出生千対 (H23~27平均)	2.09 /出生千対 (H24~28平均)	2.01 /出生千対 (H25~29平均)	2.10 /出生千対 (H26~30平均)	2.34※ /出生千対 (H27~R1平均)	未達成	こどもみらい課 毎年度
				全国：1.9	全国：2.0	全国：1.9	全国：1.9	全国：1.9※		
	全出生数中の低出生体重児の割合 (厚生労働省「人口動態統計」)	9.50% (H24)	減少	8.71%	8.40%	8.82%	9.9%	9.53%	未達成 (27~29達成)	こどもみらい課 毎年度
	むし歯のない3歳児の割合 (青森県こどもみらい課)	68.1% (H24)	71.5%	71.2%	73.7%	75.4%	77.0%※	R3.3公表予定	(28~30達成)	こどもみらい課 毎年度
	妊娠中の妊婦の喫煙率 (青森県こどもみらい課)	4.6% (H25)	0%	3.5%	2.9%	3.1%	2.6%	2.2%	未達成 (改善傾向)	こどもみらい課 毎年度
	育児期間中の両親の喫煙率 (厚生労働省母子保健課)	父49.8% 母8.1% (H25)	父36.0% 母6.0%	父48.4% 母9.8%	父46.1% 母9.8%	父46.9% 母9.4%	父45.2% 母9.0%	R2.8公表予定	(改善傾向) (悪化傾向)	こどもみらい課 毎年度
	妊娠中の妊婦の飲酒率 (青森県こどもみらい課)	3.3% (H25)	0%	2.6%	2.4%	2.3%	1.8%	1.6%	未達成 (改善傾向)	こどもみらい課 毎年度
	小児救急電話相談(＃8000)を知っている親の割合 (厚生労働省母子保健課)	48.9% (H26.12)	59.9%	—	—	85.5%	81.3%	R2.8公表予定	(29~30達成)	こどもみらい課 (H29、H30)
	子どものかかりつけ医を持つ親の割合 (厚生労働省母子保健課)	医師70.7% 歯科医師44.6% (H26.12)	医師78.8% 歯科医師49.1%	—	—	医師87.7% 歯科医師66.9%	医師79.3% 歯科医師50.5%	R2.8公表予定	(29~30達成)	こどもみらい課 (H29、H30)
	仕上げ磨きをする親の割合 (厚生労働省母子保健課)	69.3% (H26.12)	74.7%	81.2%	81.8%	80.8%	75.9%	R2.8公表予定	(27~30達成)	こどもみらい課 毎年度
	十代の自殺死亡率(15~19歳) (厚生労働省「人口動態統計」)	10.6 /人口10万対 (H25)	減少	8.0 /人口10万対	1.6 /人口10万対	5.0 /人口10万対	6.9 /人口10万対	R2.12公表予定	(27~30達成)	障害福祉課 毎年度
	児童、生徒における痩身傾向児の割合(高校2年女子) (文部科学省「学校保健統計調査」)	1.90% (H25)	1.40%	2.99%	0.94%	1.86%	2.8%	2.40%	未達成 (28達成)	教育庁 毎年度
児童、生徒における肥満傾向児の割合(小学5年生) (文部科学省「学校保健統計調査」)	14.2% (H25)	12.0%	11.3%	11.5%	11.7%	11.4%	12.7%	未達成 (27~30達成)	教育庁 毎年度	

#### 4 のびのびあおもり子育てプランの評価 (②安心して子どもを産むために)

※は暫定値

施策の基本方針	施策の目標指標	プラン策定時	目標値	実績					達成状況	担当課 公表時期
				H27年	H28年	H29年	H30年	R1年		
2 安心して子どもを産むために —妊娠・出産を支援します—	十代の喫煙率 (青森県「未成年者喫煙飲酒状況調査」)	(中学1年) 男子0.4% 女子0.2% (高校3年) 男子2.7% 女子1.1% (H23)	0%	男子0.2% 女子0.2% 男子1.1% 女子0.3%	—	—	—	男子0.2% 女子0.0% 男子0.9% 女子0.7%	未達成 (改善傾向)	がん・生課 (H27、H31)
	十代の飲酒率 (青森県「未成年者喫煙飲酒状況調査」)	中学3年 8.2% 高校3年 14.6% (H23)	0%	中学3年 3.9% 高校3年 6.9%	—	—	—	中学3年 1.7% 高校3年 4.6%	未達成 (改善傾向)	がん・生課 (H27、H31)
	この地域で子育てをしたいと思う親の割合 (厚生労働省母子保健課)	92.3% (H25)	94.2%	93.8%	93.1%	92.9%	92.9%	R2.8公表予定	(改善傾向)	こどもみらい課 毎年度
	妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う勤労妊婦の割合 (厚生労働省母子保健課)	91.9% (H26.12)	93.9%	91.1%	73.7%	72.3%	91.7%	R2.8公表予定	(悪化傾向)	こどもみらい課 (H27～H30)
	子どもを虐待していると思われる親の割合 (厚生労働省母子保健課)	3・4か月児8.7% 1・6歳児15.9% 3歳児32.3% (H27)	減少	8.7% 15.9% 32.3%	4.8% 14.6% 31.1%	4.8% 15.3% 31.1%	4.1% 13.8% 29.6%	R2.8公表予定	(28～30達成)	こどもみらい課 毎年度
	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合 (厚生労働省母子保健課)	3・4か月児93.2% (H26)	100%	97.3%	97.5%	97.7%	97.8%	R2.8公表予定	(改善傾向)	こどもみらい課 毎年度

##### 【評価】

○「乳児死亡率」は減少傾向にあったもののここ数年増加し、「妊娠中の妊婦の喫煙率」「妊娠中の妊婦の飲酒率」は、前期計画策定時よりも改善されているものの、目標を達成することができなかったことから、周産期医療システムの円滑な運用や、母子保健を担う市町村への支援等に取り組む。  
○「児童、生徒における痩身傾向児の割合」「児童、生徒における肥満傾向児の割合」「十代の喫煙率・飲酒率」も目標を達成することができなかったことから、学校における保健指導の継続、強化を継続する。

##### 【令和元年度の主な取組】

- 乳幼児はつらつ育成事業
- いきいき青森っ子健康づくり事業
- みんながつながる食育推進事業
- 周産期医療システム運営事業
- 子ども医療電話相談事業

#### 4 のびのびあおもり子育てプランの評価 (③安心して子どもを育てるために)

※は暫定値

施策の基本方針	施策の目標指標	プラン策定時	目標値	実績					達成状況	担当課 公表時期
				H27年	H28年	H29年	H30年	R1年		
3 安心して子どもを育てるために	【再掲】合計特殊出生率 (厚生労働省「人口動態統計」)	【再掲】1.40 (H25)	増加	1.43	1.48	1.43	1.43	1.38※	未達成 (27~30達成)	こどもみらい課 毎年度
	男性の育児休業取得率 (青森県「中小企業等労働条件実態調査」)	男0.8% (H25)	男2.0%	男1.1%	男1.8%	男3.9%	男2.1%	男4.4%	達成	労政・能力開発課 毎年度
	理想とする子どもの数の平均と予定とする子どもの数の平均の差 (青森県「子どもと子育てに関する調査」)	理想2.54人 予定2.17人 理想>予定0.37 (H25)	減少	—	—	—	理想2.60人 予定2.33人 理想>予定0.27 (H30)	—	達成	こどもみらい課 H30
	子育てする上で、辛さ、不安、悩みを持っている(持っていた)人の割合 (青森県「子どもと子育てに関する調査」)	78.0% (H25)	減少	—	—	—	81.0% (H30)	—	未達成	こどもみらい課 H30

##### 【評価】

○「男性の育児休業取得率」「理想とする子どもの数の平均と予定とする子どもの数の平均の差」は目標を達成することができた。一方、「子育てする上で、辛さ、不安、悩みを持っている(持っていた)人の割合」は目標を達成することができなかったことから、放課後児童クラブや地域における子育て支援サービスの充実、働き方改革の推進等、社会全体で子育てを支援する取組を推進する。

##### 【令和元年度の主な取組】

- 地域子ども・子育て支援事業
- 「みんなで子ども・子育てを応援！」推進事業(仕事と結婚・子育て両立応援事業)(「みんなで子ども・子育てを応援！」キャンペーン事業)
- あおもり子育て応援パスポート事業
- 女性の活躍推進加速化事業



#### 4 のびのびあおもり子育てプランの評価 (④特に支援が必要な子どもが健やかに育つように)

※は暫定値

施策の基本方針	施策の目標指標	プラン策定時	目標値	実績					達成状況	担当課 公表時期
				H27年	H28年	H29年	H30年	R1年		
4 特に支援が必要な子どもが健やかに育つように	子育て中に子どもを虐待していると感じることがある(あった)親の割合 (青森県「子どもと子育てに関する調査」)	32.8% (H25)	減少	—	—	—	35.0% (H30)	—	未達成	こどもみらい課 H30
	里親等委託率 (厚生労働省「福祉行政報告例」)	20.2% (H25)	23.4%	25.4%	25.5%	26.1%	25.9%	27.9%	達成	こどもみらい課 毎年度
	母子寡婦福祉資金の周知度 (青森県「ひとり親家庭等実態調査」)	23.5% (H21)	増加	—	—	—	—	31.3%	達成	こどもみらい課 H31
	児童養護施設入所児童の大学等進学者数 (青森県こどもみらい課)	1人 (H25)	増加	4人	3人	5人	1人	3人	達成	こどもみらい課 毎年度

##### 【評価】

- 「子育て中に虐待をしていると感じることがある(あった)親の割合」は目標を達成できなかったことから、相談支援体制の充実・強化や、子ども虐待への迅速な対応等に取り組む。
- 「母子寡婦福祉資金の周知度」は目標を達成したことから、今後もひとり親家庭に対する支援の充実に向けて取り組んでいく。
- 「里親等委託率」「児童養護施設入所児童の大学等進学者数」は目標を達成したことから、今後は、後期計画から一体的に策定する「青森県社会的養育推進計画」を踏まえ、里親等委託や社会的養護により育った子どもへの自立支援の更なる推進、施設の小規模かつ地域分散化など、社会的養育の推進に向けて取り組んでいく。

##### 【令和元年度の主な取組】

- 要保護児童支援者研修事業
- 里親支援機関事業
- 社会的養護自立支援事業
- 医療的ケア児保育支援モデル事業

#### 4 のびのびあおもり子育てプランの評価 (⑤健やかに心豊かに育つように)

※は暫定値

施策の基本方針	施策の目標指標	プラン策定時	目標値	実績					達成状況	担当課 公表時期
				H27年	H28年	H29年	H30年	R1年		
5 健やかに 心豊かに 育つよう に	学校が楽しいと思う児童・生徒の割合 (青森県「青少年の意識に関する調査」)	87.3% (H24)	増加	—	88.9%	—	87.2%	—	未達成 (28達成)	青少年・男女共同参画課 隔年
	不登校児童生徒の在籍比 (文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」)	小 0.29% 中 2.60% 高 0.70% (H25)	小 0.25% 中 2.55% 高 0.50%	小 0.35% 中 2.73% 高 0.63%	小 0.42% 中 2.95% 高 0.63%	小 0.47% 中 3.04% 高 0.63%	小 0.55% 中 3.15% 高 0.75%	R2.10公表予定	(悪化傾向)	学校教育課 毎年度
	いじめ問題の解消率 (文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」)	小 93.9% 中 96.1% 高 89.8% (H25)	小 95.0% 中 96.5% 高 95.0%	95.5% (小～高)	96.1% (小～高)	80.6% (小～高)	83.8% (小～高)	R2.10公表予定	(悪化傾向)	学校教育課 毎年度

##### 【評価】

○「学校が楽しいと思う児童・生徒の割合」について、28年度は目標を上回ったものの、30年度は僅差で目標を達成することはできなかった。また、「不登校児童生徒の在籍比」は年々悪化し、「いじめ問題の解消率」は27年度、28年度と改善したものの、29年度からは大幅に減少している。このことから、引き続き、学校における相談体制の充実、いじめ防止に向けた取組を推進する。

##### 【令和元年度の主な取組】

- 若者しごと定着魅力発信事業
- スクールカウンセラー配置・派遣事業
- いじめ防止対策推進事業
- 地域の見守りで輝く笑顔推進事業

#### 4 のびのびあおもり子育てプランの評価（⑥安全・安心な子育てをするために）

※は暫定値

施策の基本方針	施策の目標指標	プラン策定時	目標値	実績					達成状況	担当課 公表時期
				H27年	H28年	H29年	H30年	R1年		
6 安全・安心な子育てをするために	子どもの交通人身事故死傷者数 (青森県「交通年鑑あおもり」)	377人 (H25)	減少	286人	247人	214人	167人	194人	達成	県警交通企画課 毎年度
	チャイルドシート使用率 (警察庁／日本自動車連盟「チャイルドシート使用状況全国調査」)	45.0% (H26.4)	増加	59.5%	55.5%	51.0%	68.5%	73.5%	達成	県警交通企画課 毎年度
	福祉犯被害少年数（未就学児童～高校生） (青森県警察本部少年課)	50人 (H25)	減少	38人	37人	39人	40人	31人	達成	県警少年女性安全課 毎年度

##### 【評価】

○「子どもの交通人身事故死傷者数」「チャイルドシート使用率」「福祉犯被害少年数」は、プラン策定時から大きく改善し、全てにおいて目標を達成することができた。今後も更なる改善に向けて取組を推進する。

##### 【令和元年度の主な取組】

- 交通安全プロモーション事業
- 子供・女性を性犯罪等から守るための対策事業
- 青少年の安全・安心なネット利用環境づくり推進事業